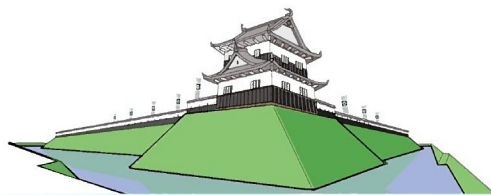


# ● 黒野城と 加藤貞泰公研究会



会報

# 甦る! 黒野城

2020.06 vol. 8

2019年4月28日～5月4日に開催された「黒野城跡イルミネーションありがとう平成！よろしく令和！」。2日目の28日夜に、特別イベントを催しました。柴橋岐阜市長や来賓を迎え、実行委員会や黒野城武将隊、そして集まった住民の皆さんと賛歌「あゝ黒野城下町」を大合唱しました。そして岐阜大学医学部看護学科の学生が考案した「賛歌で健康体操」で、全員が歌のメロディーに合わせて体を動かしました。



写真左  
「あゝ黒野城下町」  
賛歌を唱和する  
柴橋正直岐阜市長



## 尉殿堤(じょうどのつつみ)記念碑除幕式

則武新田天満宮境内にて「則武新田土地区画整理組合」の記念碑除幕式と一緒に、移転された「尉殿堤記念碑」の除幕式が柴橋岐阜市長、野田聖子議員（代理）、信田市議長など多数の来賓が出席の中、盛大に開催されました。研究会も来賓として招かれ、6名が参加しました。

移設地を提供の神社や記念碑の製作を全面的に支援された組合に感謝し、市教育委員会が設置の案内板とともに、加藤貞泰公の治水事業の歴史的文化伝承が、引き継がれたことは大変喜ばしいことです。

4/3 則武新田  
天満宮にて



4/3 尉殿堤  
記念碑の除幕式



## 「関ヶ原秋の武将イベント」初参加 419年ぶりに蛇の目旗なびく！



イベント会場

岐阜県と関ヶ原町主催の関ヶ原秋の武将イベントに加藤貞泰初登場。笹尾山グラウンド出展エリアの関ヶ原古戦場や明智光秀など、地域の観光紹介テント内で加藤貞泰のパネル展示が行われ、オープニングセレモニーにも招待されました。全国から多数の関ヶ原合戦ファンの方々が来場し、黒野城と貞泰の関ヶ原合戦での働きを紹介することができました。

これは7月に県庁の関ヶ原古戦場整備推進課を訪問し、是非とも岡山烽火場のマップ、パンフレットなどに加藤貞泰の名の表示をお願いした際、今回の出展が決まりパネル2枚と、旗5本、配布資料3点を展示しました。パネルは主催者製作で研究会活動が県にも認められました。



ブース内の様子2



ブース内の様子1



ブース外観

## 中江藤樹記念館一行来訪



中江藤樹記念館一行の様子

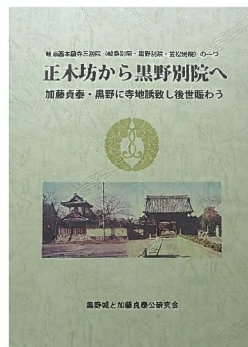
天正12年（1584）加藤光泰（貞泰の父）が秀吉の家臣で近江国大溝城主2万石のとき、光泰に仕官した中江徳左衛門吉長は、その後黒野城主加藤貞泰にも仕え、黒野城下の屋敷に16年間在住（100石）。慶長15年（1610）貞泰が米子へ国替えになり吉長もお供しました。元和2年（1616）吉長は故郷小川村から9歳の藤樹を養子にして米子に呼び寄せ、翌年貞泰の国替えで大洲に移ります。藤樹は吉長や加藤家家臣らのもて学び、後世に近江の聖人と言われるほどの偉大な人物になりました。

その吉長が居た黒野城下町を調査しに、滋賀県高島市の中江藤樹記念館の富永雄教館長、藤樹書院の山本義雄評議員、女性学芸員2名が来訪。研究会は初の来訪を記念し、吉長が住んでいた屋敷跡附近に案内板を設置しお披露目。城下町・資料館を案内し、城跡分館では資料・絵図・検地帳を紹介して相互の交流を深めました。

## 「加藤貞泰・黒野に寺地寄進し後世賑わう 正木坊から黒野別院へ」発刊

加藤貞泰は、慶長15年（1610）に正木にあった正木御坊を、洪水の影響などで黒野へ移転させました。移転後は黒野御坊となり繁栄。明治時代に黒野別院となり、岐阜西本願寺三別院の一つとして賑わい、黒野の町の中心地となりました。

冊子は約6、7年前から収集した文献や資料を基に資料集にまとめました。発刊はA4版、78頁。250部印刷し、協力者、寺院、地域などの関係者に配布。また県図書館、市図書館、北方図書館、西部コミセン図書室、黒野会館、西郷公民館図書室などに寄贈しました。

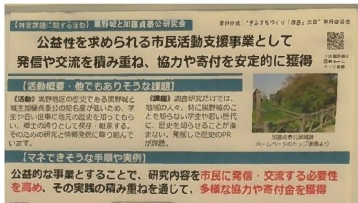




# ぎふまちづくり「改善」大賞＝大賞受賞

ぎふで真似したいまちづくりの仕組みや、工夫を勝手に表彰するもので、ぎふまちづくり「改善」大賞実行委員会の岐阜大学高木朗義教授らにより、選考された6団体のヒアリングからポスターの制作までの事前調査が行われました。

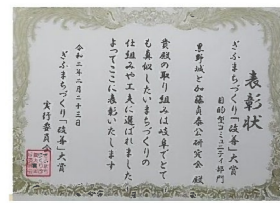
そして、メディアコスモスで1週間の公開投票が行われ、その結果、目的コミュニティ部門で最高の46票を獲得し大賞を受賞しました。



研究会の活動を紹介のポスター



岐阜大学・高木教授と河川会長



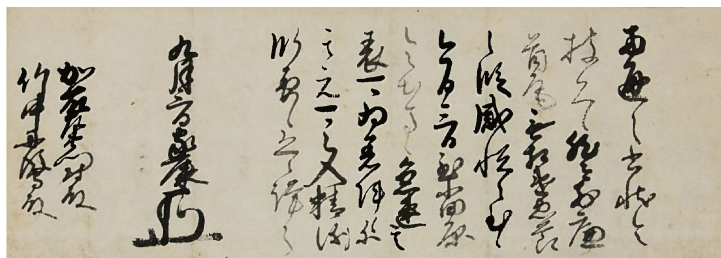
表彰状

# 竹中重門と加藤貞泰は親族 関ヶ原合戦の前哨戦 徳川家康から礼状

慶長5年（1600）9月15日の関ヶ原合戦の約1ヶ月前、加藤貞泰や竹中重門ら美濃諸将が大坂方石田三成の指示で、石川貞清の犬山城に加勢するために入城。その頃、貞泰や重門は飛札にて江戸の家康に忠誠を誓う書状を取り交わしていました。

犬山城加勢衆は、7,700人余と岐阜城守備隊の6,500人の兵力より多く布陣しました。ここで、貞泰は加勢衆を徳川に味方するよう説得しました。貞泰は20歳の若輩、重門よりも8歳年下の義兄弟（貞泰の姉が重門夫人・重門父は竹中半兵衛）関係であります。貞泰の知恵、機転もあったでしょうが、重門や重臣の加藤凶書、加藤信濃の影響も大いにあったと思われます。

加勢衆が徳川に味方し、犬山城に籠城する戦術をとったため、徳川軍の犬山城攻めはなく、岐阜城が8月23日の攻撃により僅か一日で落城しました。家康は落城の報を受け、江戸を出発し岐阜に向かいました。その途中の9月3日、小田原から送られた書状には「両者の書状を拝見しました。徳川に確かな忠義のこと深く心に感じるきわみです。・・・」と、犬山加勢衆を徳川に導いた貞泰と重門の行動を賞しました。その前後にも家康は5通の連絡をしています。その後、両者は関ヶ原合戦に参戦。東軍の勝利で両者の禄高は安堵となり、両家は共に江戸時代を生き抜いたのでした。



9月3日付 貞泰・重門宛徳川家康書状  
関ヶ原町歴史民俗資料館所蔵

## 研究会員募集

現在、当研究会では会員を募集しています。黒野城はじめ城下町、郷土史、地域活動など、当研究会で活動されたい方がおられましたら、ぜひとも参加ください。

## 研究会の活動報告(2019.04～2020.03)



黒野城跡イルミネーション



黒野白寿会による賛歌合唱



「歩こう会」による黒野探訪



会員・国島京子さん手製の陣羽織を新調



ホームページ & フェイスブックで最新情報  
黒野城と加藤貞泰公研究会



## 研究会の活動報告 (続き)



東海古城研究会による黒野城来訪

戦国期の城研究者による黒野城来訪



黒野小6年生フィールドワーク

## 令和元年度の主な研究会活動 (H31.04・R01.05～R02.03)

研究	研究会の会合	活動報告・計画・研究発表 会場は黒野会館などで隔月開催
	調査研究	郷土古文書調査
		書籍発刊「正木坊から黒野別院へ」250冊、黒野城主の事績、鶴飼発祥の地など
	外部団体との交流	滋賀県高島・山田市・垂井町岩手・ハートピア安八・東海古城研究会
見学会	大桑城周辺歴史探訪、ハートピア安八民俗資料館、安八の尉殿堤	
地域おこし ・まちづくり	新規事業	賛歌の普及活動「岐阜市長と一緒に歌おう」など各地の集会場で曲紹介
		剣舞教室開催
		陣羽織手作り製作(布製)・貸与備品
		賛歌の背景風景などDVD映像撮影・ドローン撮影
	ふるさと教育子供支援	黒野小社会教育「フィールドワーク：黒野城下町案内」(6年生3クラス100名)
		黒野小「ふるさと黒野検定子ども版」(4・5・6年生対象)
	史跡案内	豊田中日文化センター35名案内
		滋賀県高島市 中江藤樹記念館館長他3名来訪案内
		黒野まち協・黒野歴史探訪「黒野町・下鶴飼・小野史跡めぐり」50名
		歩こう会35名、岐大地域科学部43名、東海古城研究会42名、おんぼく13名
		北陸城郭研究会佐伯氏・城ファンいなもとかおり氏・市教育委員会
	講演	紙芝居「関ヶ原」&賛歌=末広公民館、安食下老人クラブ、黒野白寿会連合会
		メディアコスモスみんなの広場に大集合 賛歌紹介&紙芝居「関ヶ原」上演
		会館歴史講座「関ヶ原合戦図を読む」内堀信雄先生(岐阜市社会教育課長)
		岐阜大学地域科学部1年生授業「黒野のまちづくり」
	展示	関ヶ原古戦場秋の武将イベント初出展、会館まつり「尉殿堤」
事績案内板	中江藤樹育ての祖父徳左衛門の屋敷跡、平野病院前「賛歌の歌詞」	
美化活動	史跡ゴミ拾い・外堀土塁草刈り	
広報	ホームページの編集・維持管理(フェイスブック)	
	城跡分館「黒野城情報板」	
	黒野城武将隊活動(市民運動会・史跡案内)	
	パンフレット・リーフレット発行	

### 令和元年度 ご寄附いただいた事業者など(敬称略・順不同)

新日本ガス株式会社 / 西本整形外科リハビリクリニック / 福富医院 / 貴久家 / 黒野病院 / ヨツハシ株式会社 / 友・とぴあ / 株式会社杉山興業 / みながわクリニック / 立山クリニック / 久世工業株式会社 / 丸幸製菓株式会社 / 杉浦紙工株式会社 / 西村歯科医院 / 岐阜電話施設株式会社 / 本いぶし瓦株式会社 / 戸川新聞店 / 株式会社むつみ / 平成調剤薬局(本社) / 手打ちめん処堀川 / 黒野金融懇話会(5社)

### 会報 『甦る!黒野城』 Vol.8

発行者 : 黒野城と加藤貞泰公研究会

発行年月 : 令和2年6月(2020)

編集者 : 篠田哲郎・河口耕三・戸川文男・信田朝次

問合せ・連絡先 : ホームページ facebook.com/kuronojyo

TEL 090-1786-6564 河口耕三